

第6回 全日本少年大会神戸市大会

千歳 初優勝！

＝多井畑無念のPK負け＝

神戸を代表して第6回全日本少年大会兵庫県大会に出場するのは千歳に決まった。

5月9日から市内21チームが参加して県大会への出場権をかけて争われていた神戸市大会は5月30日、御崎少年サッカー場で準決勝と決勝が行われた。

準決勝では千歳とひよどり台、多井畑と桜の宮が対戦し、千歳と多井畑が決勝に進出した。

決勝戦は両チームとも初進出ということもあって多少緊張感。思い切ったプレーもあり見られず0-0のまま前半を終了した。後半は多井畑が積極的な攻めチャンスを作ることができず、両者無得点で延長戦に入った。

延長戦では父兄の応援も一段と盛り上がり力の入った好試合になったが、結局両者譲らずPK方式に持ち込まれた。この結果4-3で千歳が多井畑を破り、県大会へ初めて駒を進めた。



千歳は4試合無失点というすばらしい出来で勝利を勝ち取った。県大会は6月20日、27日の両日、姫路市立球技スポーツセンターの多目的広場で行われる。

【記録】▷準決勝

千歳 3 { 1-0 } 0 ひよどり台
 { 2-0 }

多井畑 2 { 0-0 } 0 桜の宮
 { 2-0 }

▷決勝

千歳 0 { 0-0 } 0 多井畑
 { 0-0 }

PK 4-3

楽しいサッカーの 実践者に

神戸市少年指導者講習会

初級コース終了！

新たに35人の修了者



△楽しい講習会を終え、仲良く記念撮影、修了式で。

少年サッカーの普及とレベル・アップは指導者づくりからと昭和49年から毎年行われている市少年サッカー指導者講習会は今年も58人の参加者を得て4月16日から5月30日まで計8日間、磯上球技場及び、同スポーツ会館を利用して行われた。今年は従来の前、後期制と異なり、コースを参加者のレベル、要望によって初級コース、中級コース、審判コースに分け、今回はその初級コースが終了したわけである。

58人中52人が修了したが新規修了者は35人であった。うち女性は9人、広がりを見せる女子サッカー振興へは必ずみをつけるだろう。

第1回からの延べ修了者は177人となった。初級コースの内容は講義としてサッカーの歴史、用語の解説、コーチング法、作戦とシステムなど。実技はボールコントロール、キ

ック、シュート、1対1などに重点をおき、最後は全員による紅白試合でしめくくった。参加者は勤務を終え、疲れた体にムチ打って、また主婦にとっては夕食の支度時とそれぞれが困難をかかえながらも林幸男氏、三沢玲爾氏ら高齢者の情熱に引ばられて熱気ムンムン、和気あいあいのうちに終了することができた。

打ち上げのパーティーでは修了証、皆勤賞、紅白試合の殊勲賞、ベスト・ディフェンス賞などが贈られムードはもりあがった。特にご夫婦で参加された兼弘、村田、作本、初島ご夫妻には協賛運動具店より記念のTシャツが贈られ、全員の大きな拍手を受けた。

今後は益々の研さんを積み、楽しいサッカーの良き伝道者、実践者となるように期待してやみません。(黒田和生)

県高校トレセン始動

和田、永島ら元気に参加

兵庫県協会トレーニングセンター高校生の部が5月より御影工業高校のグラウンドで毎週火曜日午後7時より開始された。

参加者は県内の高校生の中から各大会から見いだされた優秀選手であるが、高校総体が進行中のためまだ参加者が少ない。総体の終了後最終メンバーが確定すればさらに充実した活動が期待される。

現在参加しているメンバーでは、昨年のライオン・シティ・カップで全日本ジュニア・ユース(16歳以下)代表の主将に選ばれた和田(県立御影)N.T.Cの候補に指名された永島(御影工)など高水準の選手が加わっており、技術、戦術、体力の向上はもちろんの事、現在の兵庫県サッカー界の大きな課題の一つである精神力の充実にも期待がかけられる。

選手諸君は自分のチームの練習の後にこのトレセンに参加するのだから学習時間の確保、チームメートとの協調などいろいろな問題点をかかえているが、トレセンの選手には所属チームの期待と、兵庫県サッカー関係者の期待がかけられており、自分自身のサッカーの完成のためにも根気強い努力を続けてもらいたい。

メンバーが確定しましたら次号で発表します。(兵庫県トレセン主任 一北四郎)

初の試み

市中学強化リーグ開催

市協会中学委員会は今年から市内の上位チームの一層の強化をはかるため、神戸市中学生強化リーグを始めた。参加したのは、春の市中学選手権の上位4チーム(神戸FC・A、B、高倉、鷹匠)と会場校(星和台、灘)審判協力校(本山、有馬)と東、西神戸朝鮮中級学校の10チーム。5月16日は星和台中に、23日は灘中に集まって交歓試合形式で行われた。

大会中最も良いゲームをしたのはやはり中学選手権優勝の神戸FCジュニアAで、技術戦術ともに他を寄せつけない強さを発揮した。また、市内新人戦で優勝したものの中学選手権大会でPK方式で神戸FC・Aに2回戦で敗れた本山も好ゲームを展開した。鷹匠は昨夏の1年生リーグ2位の実績を持つ2年生中心のメンバーで参加し健闘した。

しかし、おしなべて言えば市内のチームはある程度のボール扱いはできるが、局面、局面にあった判断がまずく、タイミングの良いプレーができない。また、腰高のプレーが多く目についた。特に中学校チームは冬の新人戦から伸びているチームは少なく、指導者の奮起を期待したい。

(市中学委員長 大和川洋一)

神戸市社会人運営会議予定

次回 7月15日(木)

8月19日、9月16日、10月14日、
11月18日、12月16日、1月20日、
2月17日、3月17日、
いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ・ハイム

第26回兵庫県 高校総体

御影、三原 再延長もゆずらず

第26回県高校総体兼全国高校総体県予選は132校が参加して5月2日から開幕し、6月7日、神戸中央球技場で御影対三原の決勝戦が行われた。試合は1-1で延長戦に入ったが、相方譲らず、再延長も得点なく終了し、両校優勝となった。また、全国総体にはPK方式で御影が勝ち、2年連続出場を決めた。

御影 全国大会へ出場

PK方式(11人目 9対8)で決まる

【評】御影は前半阿部、和田の中盤から左右のスペースへ走るFWヘタイミングのよいパスがでて、ペースをつかみ、10分、三原守備陣の小さなクリアを御影小田がひろいドリブルシュートを決め、1-0と先行した。一方、三原はかたさが見られ、持ち味である個人技と展開力が乱れていたが、25分、1年生で小柄ながらセンスのいい小丸俊幸が中盤に入ってリズムを取り戻し、好ゲームとなった。

後半は御影が勝ちを意識したためFWの動きが鈍くなり消極的なサッカーになった。そのため三原が中盤を完全に支配し、攻め込むが、今一つ工夫がなく御影の守備陣を崩し切れない。しかし、30分、ねばる三原はLW小丸俊幸が御影のちよとした気の緩みに左45度から右すみに見事なシュートを決めて同点となり、勝負は1-1のまま延長戦に入った。延長戦前半は三原、後半は御影ペースとなりお互いチャンスをつかんだが決定力がなく、再延長に入り気力の戦いとなった。しかし、相方とも譲らず1-1のまま終了した。

今後の課題として、御影は走り込んでパスを受けたFWの1対1の強さ、三原はゴール前での意欲のあるゴール・シュートが必要で



あろう。(県高体連技術委員長 岡本隆英)
(大会記録と反省は2面に)

走るサッカー効を奏す

御影高校監督 森田 哲哉

今大会は本命のない大会と戦前から予想され、どこのチームにも優勝の可能性があった。組み合わせからチームのコンディションのピークを5月下旬に照準をあわせ、もっぱら大会の初期は練習の負荷を多く目にして選手は多少の疲労の中で2、3回戦に臨んだ。そのため毎試合苦戦を強いられ、特に三田戦ではPK戦にまでもちこまれたが薄氷を踏みながらも勝利を得ることができた。選手自身勝つことの難しさを身をもって感じ、この試合をきっかけにチーム全体にまとまりと盛り上がりを感じられた。準決勝からの予想される対戦相手はいずれも個人技では相手チームが上と考え、つなぐサッカーよりスペース

を使ってロングパスを多用した攻撃と、守から攻への切り換えの早さをポイントにした練習を徹底させた。選手自身もよく個人の能力をわきまえ、勝つためにはどんなサッカーをしたら良いかを知り、特に攻撃面では個人の特徴を生かした走るサッカーに徹したのが今回の優勝につながった様に思われる。技術面で負けても、精神面で相手に絶対に負けないという気持ちをもって各試合に臨んだ選手一人一人に敬意を表したい。

全国大会にむけて、技術、戦術面での向上はもちろんだが、酷暑の中で頑張れる精神的肉体的スタミナの養成にポイントを絞り、目標はベスト8だが、チームのモットーである1戦1戦に全てを出し切るゲームをしたいと考えている。

最後に今大会にご尽力下さった関係の方々に厚くお礼申し上げます。

第24回 神戸市民大会

アーセナル連続優勝



△中村市社会人委員長よりトロフィーを受けるアーセナル なお、決勝に先立ち

2年連続優勝を飾った。アーセナルの3年連続決勝進出、2度の優勝は見事である。

▷決勝(5月22日、神戸中央球技場)

アーセナル 3 { 1-1 } 1 御影工
FC { 2-0 } OB

アーセナルは前半、GKミスから先取点を御影工高OBに許したが、あわてることなく落ち着いてゲーム運び、前半で追いついた。後半は、昨年一年間社会人リーグ1部でもまれたアーセナルと、3部で楽に勝ってきた御影工高OBとの差が端的に表われ、ボールへの寄り、スタミナに勝るアーセナルが2点を追加して振り切った。

今大会は3回戦で六甲ヒルケルが須磨クラブに敗れた以外はほぼ順当に強豪チームが勝ち進み、ベスト4には2部の御影工高OB以外はアーセナル、神大、同好会、川重神戸と1部チームが進出した。

行われた3位決定戦は神大同好会が3-1で川重神戸を破り入賞を果たした。

第24回神戸市民大会結果

御影工OB	3	5	赤塚山OB	0	5
市役所(B)	2	1	ナブコ	1	0
灘生協	2	1	鈴高OB	0	6
兵庫ふそう	1	0	葺合クラブ	2	0
KFC(A)	1	0	大	0	7
かつおぶし	4	0	ガラクターズ	0	7
KFC(B)	3	1	経理学校	1	5
YGF(C)	1	0	新日本検定	0	5
川鉄建材	0	5	マクロ	1	3
神鋼本社	3	4	川重神戸	1	3
アパッチ	1	1	須磨クラブ	5	0
朝銀信組	1	1	スポーツマン	1	0
住友ゴム	0	1	県庁	0	2
三菱電機	0	3	六甲ヒルケル	3	0
神大同好会	5	3	三	0	0
神戸ライオン	0	4	神北OB	0	0
ビートルズ	4	4	ケン	1	3
県職神戸	0	0	川西倉庫	0	5
関電神戸	0	0	川重神戸A	1	7
灘F.C.	0	0	アーセナル	11	0

有宏スポーツ
東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

灘スポーツ
灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

塩谷スポーツ
兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC
三宮センター街 ☎078(391)0895
プレザショップ、トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街 ☎078(332)0141

ワールドスポーツ
東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ
中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ
湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店
中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス
灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品
本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

兵庫県協会 華やかに功労者(32人)表彰パーティー

兵庫県協会では協会創立50周年を記念し、これまで兵庫県のサッカー発展に功労のあった60歳以上の方々32名を表彰し、あわせて兵庫県協会の今後の発展を願って5月23日、ポートピアホテルで功労者表彰パーティーを開催した。

兵庫県協会は昭和6年2月、関西蹴球(しゅうきゅう)協会が設立された時その下部組織として『兵庫蹴球協会』が生まれた。それまでは大正10年9月10日に大日本蹴球協会が設立され、初年度の事業として行われた全国優勝競技会、すなわち全日本選手権大会を行う際に近畿予選地区と呼ばれるものがあつたにすぎない。

昭和53年4月、兵庫蹴球協会は、日本協会が財団法人化されてその加盟団体となり、名も『兵庫県サッカー協会』と改称され現在に至っている。

パーティーには県協会関係者のほか来賓の県体育協会、市体育協会、日本サッカー協会、関西運動記者クラブの記者諸氏ら多数が出席し、盛大に行われた。

式典ではまず砂田重民県協会会長があいさつし、続いて吹田大輔兵庫県体育協会副会長、大熊律夫神戸市体育協会副会長、平木隆三日本サッカー協会理事らの祝辞の後、功労者32名に次々と感謝状が手渡された。

表彰を受けられた功労者の方々(年齢順)は、

岩野次郎(明治37年9月10日生) 兵庫県協会顧問、初代兵庫蹴球協会理事長。戦前の全国中等学校蹴球大会の運営に

活躍。

赤川公一(明治39年2月14日生)

兵庫県協会副会長、元神戸クラブ監督、元兵庫蹴球協会審判委員長。

北川真義(明治39年5月17日生)

兵庫県協会顧問、元神戸市協会副会長。少年サッカー普及発展に貢献。

長谷川登(明治41年4月21日生)

東播協会会長、加古川市協会会長。

中川次男(明治42年5月8日生)

元兵庫蹴球協会理事。神戸市少年サッカー発展に尽力。

黒崎一市(明治43年2月26日生)

兵庫県協会顧問、元神戸市議員。

河本春男(明治43年3月28日生)

神戸市協会会長、元神戸一中サッカー部監督。

中村久(明治43年6月2日生)

兵庫県協会顧問、元理事、元高校委員長。平松留男(明治43年11月26日生)

元兵庫蹴球協会理事、兵庫県実業団蹴球連盟代表者。実業団(社会人)サッカーの基礎を作り上げた。

大橋真平(明治44年1月9日生)

兵庫県協会顧問、神戸市立小学校長として少年サッカー普及発展に貢献。

空野章(明治44年9月15日生)

兵庫県協会顧問。

加藤正信(明治45年1月30日生)

神戸市協会副会長、同元理事長、兵庫県協会参与。少年サッカーと壮年者のサッカーの普及等生涯体育の実現に尽力。

ここが関門になるはずである。今回は必死で関門を抜け出した8チームが準々、準決、決勝と実力迫中の展開で例年になくすさまじい優勝争いを演じた。

苦しいトーナメントを見事勝ち抜き2連勝を果たした御影には心からお祝いを申しあげるとともに全国大会での活躍を祈るしだいである。

しかし、トーナメント中いくつかのチームははなはだマナーが悪く、多くのサッカー仲間からひんしゅをかってしまった。兵庫県の高校サッカーに欠けていた激しいプレーがこのような激戦の中からせつかく生まれ始めたのだからお互いにフェアに競い合せてせつなくしたいものである。日々、技術や体力を鍛えつつ高校生らしいたくましい心も鍛えてほしいものである。

関西リーグ前期終了 兵庫教員(3位)後期に期待

関西社会人リーグは5月30日で前期を終り、引き続いて6月5日より7月4日まで後期日程の五節を実施する。

前期を折返した時点では1位大阪ガス、2位紫光クラブ、3位兵庫教員団、の3チームが同勝点で並び、4位から7位に田辺FBC、電電近畿、三菱京都、大阪教員クラブが勝点1の少差で競り合っている。

志方正二(大正元年8月17日生)

元東播協会会長、元高砂市協会会長。

小島喜与次(大正元年9月16日生)

姫路市協会顧問、播州協会元副会長、理事長。

西邑昌一(大正元年9月18日生)

神戸市協会副会長、兵庫県協会参与、元兵庫蹴球協会技術委員長、ベルリン・オリンピック日本代表。元関西学院サッカー部監督。

吉江経雄(大正2年6月15日生)

日本協会理事、関西協会理事長、兵庫県協会常務理事。

山岸治郎(大正2年11月30日生)

淡路協会会長。

山村賞(大正3年6月23日生)

元兵庫蹴球協会理事長、監事。

塚本隆男(大正4年2月2日生)

姫路市協会顧問、播州協会元理事、同審判委員長。

安居律(大正4年7月27日生)

兵庫県協会監事。

有本竹次郎(大正5年1月2日生)

姫路市協会監事、播州協会理事。高校サッカーの発展に貢献。

吉村喜代治(大正5年1月2日生)

兵庫県協会顧問、元兵庫蹴球協会中学委員長、兵庫県中体連会長、同サッカー部長。

木村定展(大正6年11月25日生)

尼崎市協会副会長、同元理事長。

安宅健一(大正7年1月28日生)

尼崎市協会、少年サッカーの普及発展に貢献。

大谷四郎(大正7年4月23日生)

兵庫県協会顧問、スポーツジャーナリスト。二宮運次(大正8年4月9日生)

元兵庫蹴球協会理事長、現監事、元兵庫蹴球協会審判長、元国体選抜監督、元国際審判員。

堂本晋三(大正8年9月26日生)

明石市協会会長、少年サッカーの普及に尽力。

鬼塚喜八郎(大正9年5月25日生)

兵庫県協会顧問、株式会社アシックス社長。

松永隆四郎(大正9年12月29日生)

芦屋市協会理事長。

清水清数(大正10年1月3日生)

元兵庫蹴球協会理事、元国際審判員、高校サッカーの指導に尽力。

長島隆(大正10年9月7日生)

元兵庫蹴球協会理事、元神戸市役所市民局長、神戸市立中央球技場建設に当り市当局とのパイプ役として貢献。

西林恵三(大正12年1月10日生)

兵庫県協会常務理事、綱紀委員長。少年サッカーの普及向上に尽力。協会役員、審判員として貢献。

後期も一節ごとに順位がめまぐるしく変わるダンゴレースとなりそうだが、後期より新戦力の加わる紫光がやや有利と言える。いずれにしても連戦の疲れとけが人の影響をまともに受けたチームが脱落しそうだ。

兵庫勢の兵庫教員は今年も同率3位につけており後期の活躍によっては初優勝も可能な位置にあり健闘が期待される。

昨年3位と頑張った三菱神戸は1勝8敗と全くの不振にあえいでいるが、今後若手の成長と故障者の回復で、後期の巻き返しを期待したい。

昭和57年度第17回関西社会人リーグ前期成績

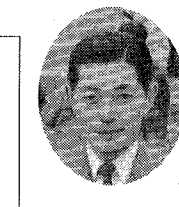
順位	チーム名	ガス	紫光	兵教	田辺	電々	三京	大教	大日	京警	三神	勝点	得失点差
1	大阪ガス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	12
2	紫光クラブ	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	12	8
3	兵庫教員団	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	12	5
4	田辺FBC	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	11	△6
5	電々近畿	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	10	5
6	三菱京都	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	10	2
7	大阪教員	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	10	△3
8	大日電線	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	6	△5
9	京都府警	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	5	△5
10	三菱神戸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	2	△13

サッカー

教え方 学び方 (6)

岩谷 俊夫

協力 毎日新聞社



1966年夏来日した英国のスコットランド・プロ、スターリング・アルビオンとの大熱戦に興奮した一老人から、つぎのような投書をいただいた。「わたしはサッカーの素人だが、日本チームは全部ゴールより高く上がる。それにひきかえアルビオンのシュートは全部地をばう。日本のコーチはゴールの高さが何メートルあるのか選手に教えているのか」。

これには全く恐れいっただ。ゴールの高さは2m44である。ついでにいえば幅は7m32、幅は高さのちょうど3倍だ。だれが考えたって少々コースははずれても低い方が得点の確率は高い。ましてキーパーは立っている。低いボールをとるのはそれだけ時間もかかるのである。

ボールが高く上がる理由はいくつかある。ボールが急に小さく浮いたた

めに、上からたたきこめなかったこともある。走りこんだところで力が尽き、腰がうしろに残り、足の振り上げの際にボールの南半球をたたいてしまった、つまりすくい上げのかつこうになるのも理由の一つである。インステップ面で正面からたたいたつもりでも、ボールのねらいどころが悪く、ボールが浮力で大きく上がることもある。

これらの理由で共通しているのは、ボールのけり場所を誤っている点だ。ころがってくるボールばかり練習しているときには、踏みこみの位置さえみこめば、大体いいシュートはできる。だがこの初歩的な段階で、キックする方の足は大体の感じでボールのどこをねらうか、ということをお

ボールの赤道をけれ

単な方法は、ボールを両手で持ち、ちょうどけり足の前にいったん落としてけるドロップ・キックである。足先を真下にのぼし、足首をかたくし、むしろ北半球をたたきようとする姿勢は、早期教育の着眼点の正しさを



インステップ・シュート

立ち足に全体重をかけ、ボールの赤道をたたいて強烈なシュートを放つパラグアイのロメロ選手(1979年ワールドユース大会より)



ける一瞬は立ち足がしっかりと大地をふまえている。両手を広げた体でバランスをとらなければ、けれる道理がない。

の前方で止まるような弧を描く。軸足に体が倒れてい

えているのは、もはや一つの本能といっ

てよいだろう。シュートにはいろいろな種類がありそうにみえる。結果的には多いということもいえる。しかし、前へ一直線に甲を押出しさねば真つすぐ飛ばないのではない

は、真うしろから

ははずだ。両手を勢よく

振れば背骨がねじれて

こともわかる。腰が一本

を軸として回転している

こともわかる。みんな自然

の円運動である。キックは決

て押すだけの力ではない。

とにかく体重をかけて振

りきつてしまう。このフォ

ームは右と左に一つづつあ

れば十分。この一番好きな

フォームを、立ち足の置き

方ですべてにあてはめれば

よい。そのタイミングが身

につけば、あとはボールの

赤道だけが問題だ。赤道を

けろうとの意欲は、自然に

シュートの幅につながる。

少年たちですら振り足を

この連載は昭和42年に毎日新聞社から発行された「サッカー教え方学び方」の内容をお送りしているものです。著者の岩谷俊夫氏は神戸市出身の元日本代表選手で、毎日新聞社に勤めながら日本サッカー界に貢献。特に神戸、大阪の少年サッカー育成には大きな功績をしたが、病魔におそわれ45年に44歳の若さで永眠された。「少年サッカーの道しるべ」として書きつづった話は、サッカーの原点を的確にとらえており、多くのサッカーファンをひきつけて、はなさない。

充実のモルテンTango

サッカー界の新しいスタンダード

MTSAD official ball and weight

molten

Second core-hold

Made in Japan

Official Ball of the World Cup

モルテン工業株式会社

広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

明日の栄光を 勝ちとれ!

▲80年代をリードする ヤンガー サッカーウェアー

younger

SOCCER WEAR, PANTS, STOCKING

スポーツの意欲を燃やす

MONT BLANC

モンブラン株式会社

写真はマークカム11・ケリー

markam

マークカム・サッカーシューズ

マークカム11 ケリー・レッド・ブルー・イエロー

●サイズ:18.0-28.0 標準小売価格 ¥4,300

マークカム22 ホワイト・ケリー

●サイズ:22.0-28.0 標準小売価格 ¥6,000

マークカム33 ホワイト

●サイズ:22.0-28.0 標準小売価格 ¥7,800